

波の伊八とは？

初代「伊八」武志伊八郎信由は、現在の鴨川市で生まれ、江戸後期、主に房総南部の神社や寺院の欄間彫刻などに優れた作品を残した彫師です。特に、外房の荒波を象徴するかのようなダイナミックな「波」の浮き彫りが独特の作風とされ、「波を彫っては天下第一」といわれ、「波の伊八」の異名で知られるようになりました。なお、この作風は、浮世絵師として有名な葛飾北斎の作品 富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」の波に大きな影響を与えたとされています。



葛飾北斎 / 神奈川沖浪裏



初代武志伊八郎信由 / 波に宝珠

北斎「神奈川沖浪裏」の原景 波の伊八「波に宝珠」

巨大な波の彼方に見える富士、波を下から見上げ、舟を上から見おろす。これまで波の背は多くの人が描いてきたが、波裏つまり波を下から描いた人は稀だ。あえて言えば尾形光琳に、北斎の「神奈川沖浪裏」であろう。

房州が産んだ俗称「波の伊八」の彫刻「波の宝珠」(行元寺蔵)で、北斎・伊八とも錦絵と彫刻の差こそあれ、共に波裏を描いた。この両者とも覗き画法で、得意を極めた堤等琳の影響によると考えられ、キュービズム(立体派)の典型と言える。しかも北斎の波しぶきも、等琳の点描法によると思われ、名画の原景が、堤等琳や波の伊八にあると言っても過言ではないと考えた。



期間中(2016年2月20日(土)~3月13日(日))
行元寺、飯縄寺、長福寺では観光ガイドが
ご案内いたします!!
 (お寺により指定時間あり。ガイドの実施方法は異なります。)

1 行元寺 ぎょうげんじ



有名な「波に宝珠」を
 収蔵しています。

- ◆住所/いすみ市碓原2136 TEL 0470-86-3816
- ◆拝観時間/午前10時~午後4時
- ◆一般公開は土・日のみ、それ以外は要予約。
- ◆文化財修復基金(1人500円、4名以上は1人300円にご協力願います)

ガイドあり

ガイド時間 拝観時間内(一般公開は土・日のみ)

2 飯縄寺 いづなでら



フェア期間中限定で
 特別展示開催

- ◆住所/いすみ市岬町和泉2935-1 TEL 0470-87-3534
- ◆拝観時間/午前10時~午後4時
- ◆文化財修復基金(1人300円にご協力願います)

ガイドあり

ガイド時間 10:00~14:00の2回
 但し2月27・28日は不可。
 尚、ガイド時間に拝観の方へ
 プレゼント有り。

3 長福寺 ちょうふくじ



長い歴史のあるお寺
 源頼朝の伝承があります

- ◆住所/いすみ市下布施757 TEL 0470-66-1736
- ◆拝観時間/午前9時~午後4時
- ◆文化財修復基金(1人300円にご協力願います)

ガイドあり

ガイド時間 木・金曜日 10:00~15:00
 土・日曜日 13:00~15:00

4 いすみ市郷土資料館



伊八の名が記された木札

- ◆住所/いすみ市弥正93-1 TEL 0470-86-3708
- ◆開館時間/午前9時~午後4時30分
- ◆休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)
- ◆入館料/無料



市原鶴舞ICを利用するといすみ市夷隅地域まで25分!
 市原鶴舞ICから一番近い海「いすみ」。

お車でお越しになる場合

- 東京湾アクアライン→圏央道(市原鶴舞IC)→国道297号線(大多喜町経由)→国道465号線
- 京葉道路~東金有料道路(東金IC)→東金九十九里有料道路→九十九里有料道路(一宮終点)約25分→国道128号線
- 京葉道路(蘇我IC)→県道千葉茂原線→国道128号線(茂原市経由)

電車でお越しになる場合

- 外房線(特急わかしお)~大原駅下車(東京発:72分)

●いすみ市観光センター TEL 0470-64-1111 ●いすみ市役所商工観光課 TEL 0470-62-1243

<http://www.city.isumi.lg.jp/>



いすみ市マスコットキャラクター

いすみみ